1. 授業の概要(ねらい)

【障害などで配慮が必要な場合は、LMS上に記載するメールアドレスに連絡を下さい】

この授業では大まかに以下のことを学びます。

一つ目は、政治(学)とは何か。政治(学)に固有の対象はあるのか。もしあるのならば、それはどのようなものであるか。この3つの問いに、さまざまな隣接領域との違いを念頭に置きながら、権力や正義、国家といった基本的な概念を理解することを通じて取り組みます。

二つ目は、デモクラシーとは何か。古代ギリシアに端を発する理念でもあり、制度でもあるこのデモクラシーが辿ってきた歴史を参照しながら、その意義と課題を明らかにします。

三つ目は、リベラリズムとは何か。近代西洋において生まれたリベラリズムの歴史と意義を、民主主義との関係に注目することを通じて明らかにします。

2. 授業の到達目標

この授業の単位取得時に政治学の基礎として以下の事項を習得し、市民社会における主体として望ましい教養を身につけることを目標とする。

1. 政治学における基礎概念(国家、主権、政府、権力、正統性など)の理解。

2. デモクラシーの歴史と内容の理解。

3. リベラリズムの歴史と内容の理解。

4. 上記の内容を踏まえながら、福祉国家における自由民主主義の礎的な仕組みを説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

・授業内課題(コメントペーパーの提出、授業態度)20%

・中間試験 40%

・期末試験 40%

4. 教科書・参考文献

教科書

特になし

参考文献

久米郁男 ほか 『政治学』補訂版 有斐閣

川出良枝 ほか 『政治学』 東京大学出版会

田村哲樹 ほか 『ここから始める政治理論』 有斐閣

5. 準備学修の内容

・授業内容を踏まえて、次回授業で答えてもらいたい質問をLMSで提出するリアクションペーパーに書く。

・授業内容、配付資料の内容を踏まえて、期末試験の準備をする。

6. その他履修上の注意事項

・担当者が作成した資料をLMSにて配布します。

・毎回の講義では、授業に対する感想・質問をLMSでリアクションペーパーとして提出してもらいます。質問についてはいくつかをピックアップし、次回の授業冒頭で回答します。

・受講生の関心に応じて、進度や内容を一部調整することがあります。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス 政治(学)とは何か

【第2回】 政治と権力

【第3回】 デモクラシーの起源 古代ギリシア

【第4回】 デモクラシー展開 近代から現代

【第5回】 リベラリズムの起源 近代

【第6回】 リベラリズムの展開 現代

【第7回】 リベラルデモクラシーの仕組み—議会・政党・メディア

【第8回】 中間テスト—授業のまとめ(1)

【第9回】 政策過程と官僚・利益集団 (オンライン)

【第10回】 選挙と投票行動

【第11回】 福祉国家の誕生

【第12回】 デモクラシーの現在 戦後民主主義

【第13回】 リベラリズムの諸相

【第14回】 地方自治とグローバル化

【第15回】 期末テスト—授業のまとめ(2)